あおぞら

行方市 社協だより

No.25 2012.6.1

－ 発行者 －
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会
住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299（36）2020
FAX 0299（55）4545
URL http://www.yokattanet.jp

介護予防教室（元気で～さ～びす館）

目次

P2 会長あいさつ
P3 平成24年度事業計画
P4 平成24年度予算
P5 いきいき長寿者紹介
P6-7 子育てサポート事業
P8 社協の介護サービス
P9 地域ケアシステム
P10 はじめての手話
P11 のびのびサポート事業
地域活動支援センター「ドリームハウス」
げんき行方楽健塾
お詫びと訂正
P12 善意銀行・編集後記

ごあいさつ

社会福祉法人　行方市社会福祉協議会
会長　伊藤　孝一

平成24年度第1回広報誌「あおぞら」を発行するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

皆様には日頃より、当会の事業推進に深いご理解とご支援をいただき心より感謝申し上げます。

行方市において、4人に1人が高齢者となっています。

今後、いわゆる団塊の世代が高齢者に到達する平成30年には3人に1人が高齢者と予想されます。

こうした中、高齢者の地域における健康・生きがいづくり活動が重要となり、ボランティア活動の重要性が再認識されています。

また、障害のある方ができるだけ自立した生活がおくれるよう支援しなければなりません。

特に、少子・高齢化が進み、家庭や地域のあり方も変化している中で、社会福祉協議会の果たすべき役割は、益々大きなものとなってきております。

このような中、住民が相互に支えあい、共に生きる街づくりを進め、関係機関及び団体等との連携を深めながら「いつでも、どこでも、誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくり」を推進してまいります。

皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

いつでも　どこでも　誰もが
安心して暮らせる福祉コミュニティづくり

平成24年度の社会福祉法人行方市社会福祉協議会（社協）は、住民主体の住民参加による地域福祉社会の構築を目標にしています。そのために、地域のあらゆる組織・個人と協働し、さらにきめ細かな幅広い福祉活動を展開できる福祉団体として充実させます。そして、「いつでも　どこでも　誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくり」を推進し、明るく活力あるまちづくりを目指します。

重点事項

一．法人の基盤強化と安定した財源の確保
二．地域福祉事業の充実
三．ボランティアセンターの充実
四．在宅生活支援事業の充実
五．広報啓発活動の充実

社協の主な事業

地域福祉事業
○地域福祉活動計画の策定
○高齢者福祉事業
・給食サービス事業
・介護予防事業
・善意銀行
（北浦地区）事業　等
○障害者（児）福祉事業
・びっくり・発見・夏キャンプ
・障害者ふれあい料理教室
・のびのびサポート事業
・心のサロン　等
○母子・父子福祉事業
・ひとり親家庭事業　等
○子育て支援事業
・子育て健康講座
・子育てサポート事業　等
○ボランティア活動の推進
・福祉教育の推進
・災害時ボランティア活動の支援
・災害時ボランティア活動の基盤強化　等
○共同募金運動
○歳末たすけあい運動
○福祉関係団体の支援

相談支援事業
○法律相談所の設置及び運営
○日常生活自立支援事業
○生活福祉資金貸付事業

在宅生活支援事業
○福祉機器等貸出事業
○福祉車輌貸出事業
○訪問歯科診療器具貸出事業
○在宅生活リハビリアドバイス事業
○地域ケアシステム推進事業
○在宅福祉サービス事業
○軽度生活援助事業

広報啓発事業
○広報誌の発行
○ホームページの管理運営
○福祉まつりの開催

介護保険事業
○居宅介護支援事業
○訪問介護事業

障害者自立支援事業
○居宅介護
○重度訪問介護
○同行援護
○行動援護

地域生活支援事業
○相談支援事業
○移動支援事業
○地域活動支援センター

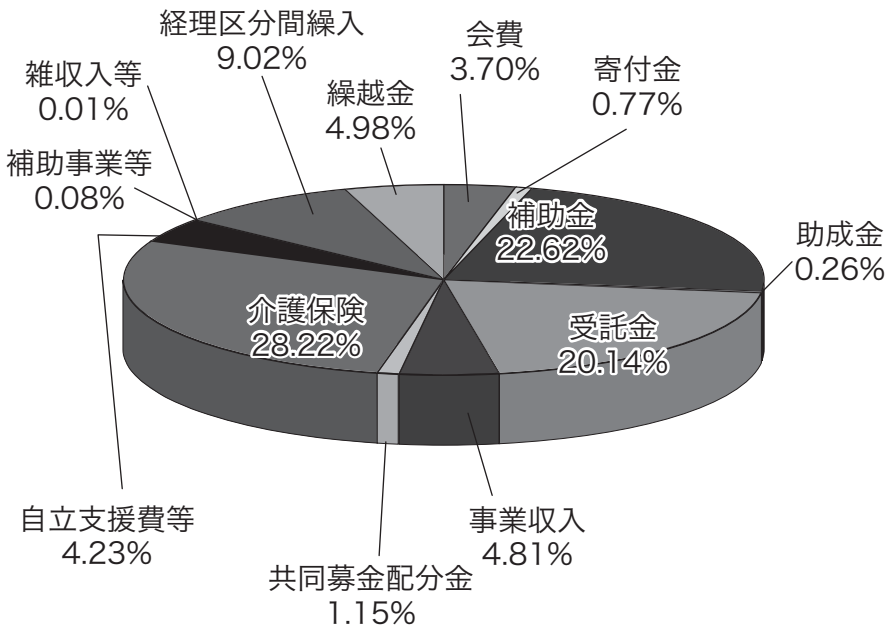
その他社会福祉関連事業
○デマンド型コミュニティバス（乗合タクシー）事業

平成24年度社会福祉法人行方市社会福祉協議会予算

平成 24 年度予算は 3 月に行われました理事会・評議員会で議決され決定しました。住民の皆様からの会費や、介護報酬のほかに市からの補助金・受託金や共同募金等で構成され、様々な福祉事業に役立てられます。

一般会計　286, 224, 000 円

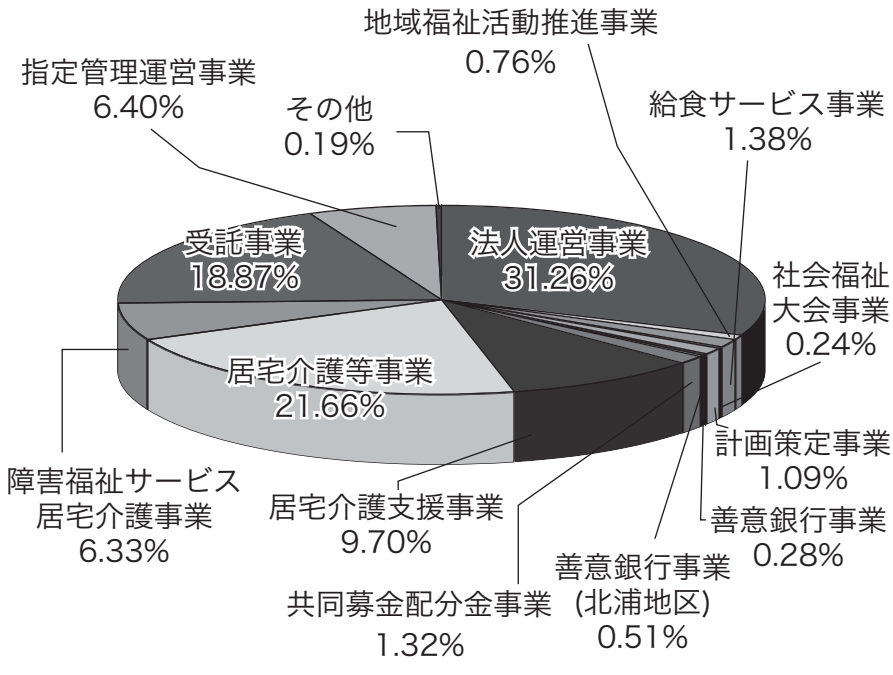
収入



（単位：千円）

会　　費	10,600
寄　付　金	2,202
補　助　金	64,735
助　成　金	750
受　託　金	57,655
事　業　収　入	13,761
共同募金配分金	3,300
介　護　保　険	80,786
自立支援費等	12,120
補　助　事　業　等	226
雑　収　入　等	15
経理区分間繰入	25,825
繰　越　金	14,249
合　計	286,224

支出



（単位：千円）

法人運営事業	89,476
地域福祉活動推進事業	2,185
給食サービス事業	3,944
社会福祉大会事業	700
計画策定事業	3,115
善意銀行事業	811
善意銀行事業（北浦地区）	1,447
共同募金配分金事業	3,789
居宅介護支援事業	27,775
居宅介護等事業	61,987
障害福祉サービス居宅介護事業	18,121
受　託　事　業	54,008
指定管理運営事業	18,316
そ　の　他	550
合　計	286,224

いきいき長寿者紹介

河内虎雄（こうちとらお）さん（行方市緑ヶ丘）92歳

とてもきれいに整備された玄関までの道を抜けると、河内さんは軒先で笑顔で出迎えてくれました。「とてもきれいに花が咲いていますね」とお聞きすると、「勝手に出てきちゃってねえ」とユーモアたっぷりに答えてくださいました。

河内さんは現在5人家族です。山梨県のお生まれで終戦を機に、こちらで暮らし始めたそうです。当時は、今のように土地も建物も整備された状況ではなく、ブルドーザーのような重機もない中で、人力で少しずつ開拓していったそうです。「当時はすごく苦労したよ。今考えても良くやったと思う」とお話してくださいました。

河内虎雄さん

河内さんの毎日は多忙です。詩吟をはじめとして、体操教室、家庭菜園など様々な趣味があります。詩吟は月3回、近所の農民研修センターでひらかれる会に参加しているそうです。「詩吟で大声を出すのが気持ち良くてね。家で大声を出していると、年齢が年齢だけに心配されちゃうしね」とここでもユーモアを交えて話してくださいました。また、月2回の体操教室は自転車で通っているそうです。そして何と買物などは自動車で行っているそうです。「あんまり遠くへは行かないけど、ないと不便でね」とおっしゃっていました。

奥様の志げのさんと一緒に

以前は、お兄様の影響でカメラも趣味のひとつで、旅行を兼ねて写真を撮りに行くこともあったそうです。

病院へはあまり通わず、とても元気な河内さん。健康の秘訣をお伺いしました。「特にこれといったことはないけれども、食べ物に好き嫌いはないかな。あと、大豆食品は食べるようにしているよ。毎朝、自家製のみそを使ったみそ汁を飲んでいるんだ。」と教えてくださいました。それに、出来るだけ自分のことは自分でしたいと、食後の後片付けなども率先してされているそうです。「ちょっとしたことでも運動にはなるから、それもいいのかもしれない」ともおっしゃっていました。

この取材は、終始和んだ雰囲気のものとなりました。これも河内さんのお気遣いがあってのことと思います。そんなふうに場をなごませたり、時には謙虚に答えてくださったりと臨機応変に対応してくれた河内さん。とても頭の回転が速い方という印象を強く持ちました。これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。

昭和 22 年頃の河内さん宅付近の様子

応援します！ママの子育てと仕事の両立

ママのリフレッシュにも！

子育てサポート事業

「子育ての援助を受けたい人」（利用会員）と
「子育ての援助をしたい人」（協力会員）が会員となり、
お互いに助け合って活動する事業です。

利用するには・・・社会福祉協議会へ事前に申請、登録が必要となります。

サポートの内容は？

○　保育園・幼稚園等保育施設、学童保育までの送迎、お迎え後の預かり
○　保育園・幼稚園等保育施設の開始前や終了後、休園日等の預かり
○　保護者の病気などの時の預かり
○　その他、保護者の必要に応じて（ママのリフレッシュの為の利用も大歓迎！！！）
※　原則、子供を預かる場合は、協力会員宅で行います。

利用会員

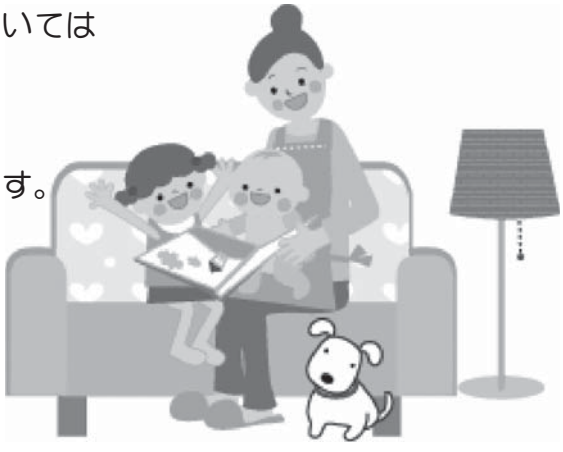
○　市内に居住又は勤務する者で、生後６ヶ月から中学校就学前までのお子様を持つ方

活動時間及び利用料

○　平日　午前７時～午後７時まで　　１時間あたり８００円
　　午後７時～午後９時まで　　１時間あたり９００円
　　※ １世帯、１時間当たり４００円の助成金を交付します。
　　※利用料金はお子様一人の金額ですので、兄弟で利用する際には、
　　それぞれ利用料金がかかります。
　　※休業日に利用される場合には、１時間あたり９００円になります。
○　休業日　土曜日・日曜日・国民の祝日・年末年始
　　（１２月２９日～翌年１月３日まで）
　　※休業日の利用を希望される方については
　　相談に応じます。

キャンセル料

○　キャンセル料については下記のとおりになります。
(1)　前日までの申出による取消し　無料
(2)　当日の申出による取消し　　半額
(3)　申出がないときの取消し　　全額



ご不明な点等ありましたら、ご連絡下さい。

子育てサポーター養成講座 受講生募集

子育てサポーターとは・・・

子育てについて手助けが必要な方たちのお役に立つため、有償ボランティアとして保育援助を行っていただきます。

社会福祉協議会に登録し、子育てサポーターとして活動していただくための養成講座です。

1．受講条件　行方市に在住の２０歳以上の心身共に健康な方で、養成講座全日程に参加できる方（定員：１５名程度）

2．受 講 料　無　料

3．実 施 日　平成２４年７月５日（木）～７月６日（金）
午前１０時～午後３時（２日間）

4．場　　所　行方市北浦公民館　講義室
行方市山田２１７５

5．内　　容

実施日	時　　間	講　　座　　内　　容
７月５日（木）	10:00 ～ 10:10	開講式
	10:10 ～ 12:00	子どもについて
	13:00 ～ 15:00	子どもの病気と看病のしかた
７月６日（金）	10:00 ～ 12:00	子どもの起きやすい事故と予防
	13:00 ～ 15:00	子どもの一時救命処置
	15:00 ～	閉講式

6．申込方法　お電話・もしくは FAX で受講者名、住所、電話番号をお伝え下さい。

子育てサポート事業・子育てサポーター養成講座に関するお申し込み・問い合わせ先
社会福祉法人　行方市社会福祉協議会　地域福祉係
住所　〒３１１－３５１２　行方市玉造甲４０３　行方市玉造福祉センター内
電話　０２９９（３６）２０２０　　FAX　０２９９（５５）４５４５

介護のことはお気軽に!!

まずご相談ください！

介護が必要になっても住みなれた自宅で生活を続けたい・・・。
そんな思いを実現できるお手伝いをします。

●居宅介護支援サービス

介護保険サービスの利用を希望される方は、介護保険の認定申請やケアプランの作成が必要になります。

・介護保険の認定とは、サービス利用を希望される方が、介護保険の対象になるかどうか、またどのくらい介護が必要とするかを審査するものです。
・ケアプラン作成とは、サービス利用希望者が、できる限り自立した生活をするためにどのような種類のサービスを、どの業者から、どのくらいの頻度や時間で利用するのかなどの計画をたてることです。

※これらの手続きは、本人や家族で行うこともできますが、居宅介護支援事業者のケアマネージャーに依頼することができます。〈基本的にケアプラン作成に対する費用の自己負担はありません〉

●居宅介護（障害福祉サービス）

障害程度区分が一定以上である方の居宅において、相談及び助言、その他の生活全般にわたる援助を行います。

家事援助　生活の拠点として使われている部屋や台所・風呂場・トイレ等の掃除、生活必需品の買い物、調理、衣類の洗濯
身体介護　食事・排泄・衣類着脱・入浴の介護、身体の清拭、洗髪や通院等の介助やその他必要な介護
通院介助　通院における外出介助

※同居家族への調理や洗濯、普段使用されない部屋の掃除、家の周辺の草むしり等や医療行為は出来ません。

●訪問介護

在宅で介護を必要とされる方のお宅に訪問し、必要なサービスを提供いたします。

家事援助　生活の拠点として使われている部屋や台所・風呂場・トイレ等の掃除、生活必需品の買い物、調理、衣類の洗濯
身体介護　食事・排泄・衣類着脱・入浴の介護、身体の清拭、洗髪やその他必要な介護

※同居家族への調理や洗濯、普段使用されない部屋の掃除、家の周辺の草むしり等や医療行為は出来ません。

お問合せ　在宅福祉係
☎０２９９（３６）２０２０

地域ケアシステム推進事業

どんな内容ですか？

「在宅ケアチーム」（※ 下記図）を結成し、その方に最も適したサービスを提供できるように調整します。

誰が利用できるの？

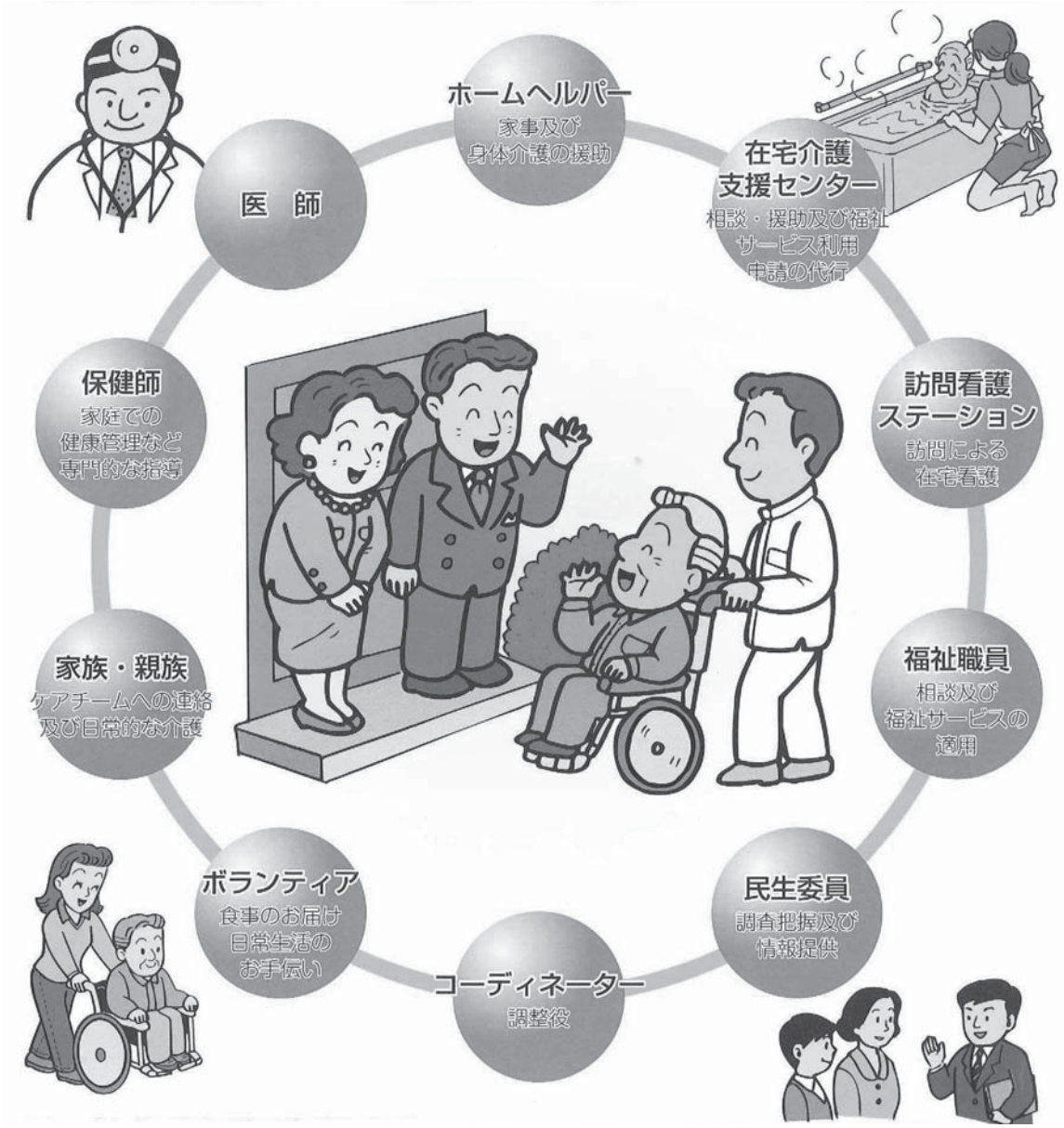
市内在住の寝たきりの方や虚弱の方、ひとり暮らしの方、障害をお持ちの方、難病の方などで何らかの支援を求める方を対象としています。

サービスの流れは？

コーディネーターによるアセスメント
（ご相談の受付とご要望の把握）
↓
サービス調整会議でケース検討
↓
サービスプログラムの決定
↓
在宅ケアチームの結成
↓
保健・医療・各種福祉サービスの提供

在宅ケアチーム

在宅ケアチームは利用者の状況や希望によってメンバーの構成やかかわりが変わります。



「地域ケアシステム」による支援を希望される方はもちろん、ボランティアとして地域ケアシステムに協力頂ける方は、ご連絡をお待ちしております。

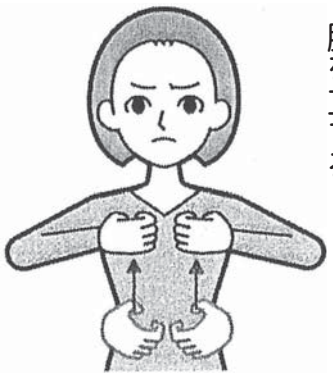
お問合せ　在宅福祉係　☎０２９９（３６）２０２０

はじめての手話②

前号から掲載しております、「はじめての手話」。1回目はいかがでしたか？手話のことを少し理解いただけたでしょうか？2回目の今回は、感情表現をご紹介します。ぜひ、チャレンジしてみてください。

①怒る、怒り、憤る、腹を立てる

折り曲げた両手を腹から上へ同時に押し上げる
（両手の人差し指を立て、親指側をこめかみにあて、そのまま上にあげても怒りの手話になります。「鬼のつののイメージ」）



腹を立てるイメージの表現

②悲しい、悲しむ

つまんだ右手2指を目元から頬に沿って下ろす

③楽しい、嬉しい

湾曲した両手の指先を胸に向け、交互に、上下に動かす

④驚く、びっくり［する］、驚き、驚愕［する］、驚嘆［する］、たまげる

左手掌に指先をつけて立てた右手2指を素早く上げる

⑤面白い、愉快、おかしい、楽しい

両手拳の小指側で両脇腹を同時に2～3回たたく

腹を抱えて笑うほどのおかしさの表現

市内において活動している手話サークル

みんなの手（麻生地区）、相生会（北浦地区）、ほたる灯（玉造地区）があります。手話に興味を持たれた方はぜひご連絡ください。

お問合せ　地域福祉係　☎0299（36）2020

障害者地域活動支援センター「ドリームハウス」

《おやき作り体験》

３月１３日（火）にふれあい料理教室研修に参加し、大子町でおやき作りを体験してきました。

おやきは大子地域の郷土料理で，体験では皮にリンゴとカボチャの２種類の具を入れて丸め，表面に小豆のエキスで絵や文字を描き焼き上げました。悪戦苦闘しながらもそれぞれの個性が発揮されたおやきが出来上がりました。

焼きたてを試食し、楽しい1日を過ごすことができました。

完成したおやき

ご利用に関してのお問い合わせ等

社会福祉法人行方市社会福祉協議会麻生出張所
☎　０２９９（８０）６６６１

行方市障害者地域活動支援センター
「ドリームハウス」
〒 311-3832
行方市麻生 2744-23
☎　０２９９（７２）００５４

のびのびサポート参加者募集

夏休み、みんなで一緒に過ごしませんか？

実施日：平成２４年
7月２５日（水）２６日（木）２７日（金）
8月　1日（水）　2日（木）１６日（木）１７日（金）
２２日（水）２３日（木）２４日（金）
時　間：午前９時から午後４時まで
場　所：行方市玉造農村環境改善センター
内　容：屋内外でのレクレーション等
対象者：市内在住の特別支援学校児童・生徒
※処遇することが困難な医療を要する方を除く
定　員：１０名
（定員を超えた場合は抽選により決定いたします）
参加費：１，０００円（１日あたり）
詳細につきましては、お問合せください。
お問合せ　地域福祉係
☎　０２９９（３６）２０２０

ニュースポーツを楽しもう

げんき行方楽健塾（らっけん）　参加者募集のお知らせ

ニュースポーツを通して、自分の能力や好みに合わせて楽しみ、生きがいと健康、仲間との交流を深めながら生涯スポーツの振興を図ります。

４月 17 日交流会では
ユニカールを楽しみました

主　　催
行方わくわくスポーツクラブ
会場・期日　行方市内の公共施設において月1、２回
※申込者へ詳細を御連絡いたします。
講　　師　茨城県スポーツリーダーバンク登録者
・茨城県ニュースポーツ指導者
募集対象　行方市内にお住まいの方
実施種目　ユニカール、シャフルボード、オーバルボール、ニチレク、ペタンク、フライングディスクゴルフ、バードゴルフ、デスコン 等
費　　用　保険代1,000円
申 込 先　行方わくわくスポーツクラブ
（代表　羽成忠一）☎0299（55）0299
または社会福祉法人　行方市社会福祉協議会
地域福祉係　☎0299（36）2020
お気軽にご連絡下さい、詳細をお送りいたします。

お詫びと訂正

社協だよりあおぞら第２４号（３月１日発行）Ｐ２の行方市社会福祉協議会長表彰状の受賞者のお名前に一部誤りがございましたので、以下のとおり訂正させていただくとともにお詫び申し上げます。

（誤）八文寺　礼子　様　　（正）八文字　礼子　様

行方市善意銀行

平成24年2月1日から平成24年4月30日までに善意をおよせいただいた方々を紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の福祉事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

麻生創生会

皆さまからの寄付金　（順不同・敬称略）

一般寄付金

預託者名	金額（円）	指定先
フラワーアレンジ 花遊々	10,000	無指定
麻生はつらつ会	11,911	無指定
匿名	3,000	無指定
行方市商工会女性部	50,000	無指定
匿名	12,700	無指定
麻生創生会　代表　山口忠夫	50,000	無指定
関戸運喜	20,000	老人福祉
行方小思い出作り委員会　代表　小沼常雄	10,827	無指定
匿名	1,200	無指定
荒張高一	20,000	無指定

指定寄付金

預託者名	金額（円）	指定先
横瀬哲彌	10,000	北浦
山野昭一	20,000	北浦
千ヶ崎次郎	20,000	北浦
河野紳一	20,000	北浦
小室勝好	20,000	北浦
内田勝	20,000	北浦
島田幸一	20,000	北浦
溝口喜典	10,000	北浦
溝口一郎	10,000	北浦
金井光一	10,000	北浦
内田信行	20,000	北浦
長峰勝利	20,000	北浦
小沼良一	10,000	北浦
石川浩通	10,000	無指定
高柳恵一	10,000	北浦
野原秀明	10,000	北浦

故人のご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

東日本大震災から1年と数ヶ月が過ぎました。

月日の経つのは早いものです。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被害を受けられた方々が元の生活に戻るまでにはまだまだ大変なことと思います。私達は普通の生活が出来ることは幸せなことと思います。

昨年末、今年の漢字で『絆』が選ばれました。今日も元気ですか、お変わりありませんかなど、向こう3軒両隣からの温かい声かけがどんなに大切なことか。このごく自然な連帯感の深まる言葉が満ち溢れ、助け合う世の中、そして思いやりの心を大切にしたいと思います。

管澤広報委員

広報委員

委員長　城山　文男
副委員長　管澤　トヨ
委員　大久保　守
委員　菅谷　京子
委員　小貫　敏子
委員　大軒　光江
委員　山崎　實
委員　石橋　展子
委員　代々城千尋
委員　小峰　宏信